



めあて 「1次関数」について理解しよう。



教科書 P.56 を読み、下の□をうめなさい。

学習のポイント1 1次関数とは

2つの変数 x , y について、 y が x の1次式で表される

$$y = ax + b$$

x に比例する部分

定数の部分

とき、 y は x の1次関数であるという。

1次関数は、一般に右のような式で表される。



具体例は、教科書 P.56 の例1と、教科書 P.57 の例2を読んでもみよう。



教科書 P.64 (必要に応じて P.58~63) を参考に、下の全体像を完成させなさい。

学習のポイント2

$y = \frac{2}{3}x - 5$ のグラフを例にして、表・式・グラフの関係をまとめると次のようになる。

表

x	...	-6	-3	0	3	6	...
y	...	-9	-7	-5	-3	-1	...

x と y の増減の割合が一定であるのが1次関数の特徴

x	y
+	+
+	+
+	+
+	+

式

$$y = \frac{2}{3}x - 5$$

$x = 0$ のときの y の値

変化の割合 =

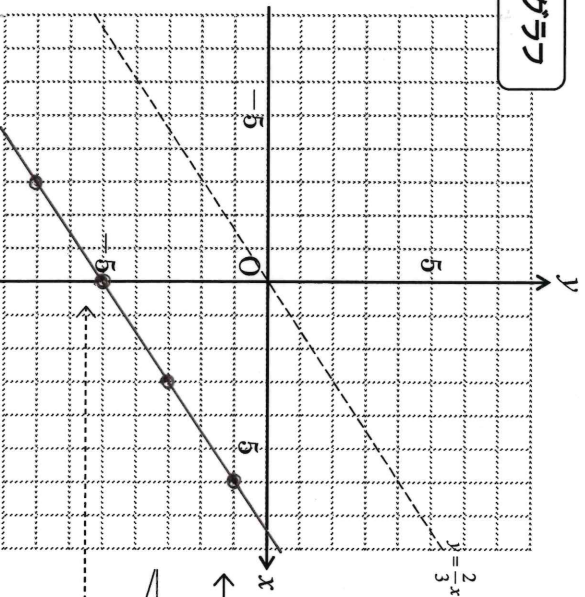
y の増加量 / x の増加量

傾き



グラフの特徴については、教科書 P.60~を読んでもみよう。

グラフ



切片

$y = \frac{2}{3}x$ のグラフを、

y 軸方向に -5 だけ平行移動

したものが $y = \frac{2}{3}x - 5$ のグラフ